

### (3) 第 2 部「身近な環境問題～コミセンの太陽光発電と周辺緑化の可能性など～」 をテーマにした意見交換（要旨）

#### 1. コミセン屋上への太陽光発電の設置について

##### 【ご意見】

環境について、行政も熱心に取り組んでいると感じている。平成 22 年まで視野に入れて作られた、市の環境基本計画では、意欲的な目標を掲げているが、残念ながら、具体策が足りない。その理念をどうやって現実のものにするかをもう少し詰めていかないと、絵にかいた餅になりかねない。現在、「地域の省エネを進める会」を立ち上げて、吉祥寺南町を中心に活動を行っている。その代表例として、太陽光発電、公園の積極活用、緑地の確保・活用など、たくさんのテーマを掲げている。詳しくは、吉祥寺南町コミセンニュースの中に時折入れている「ごみ山減太」という記事を読んでもらいたい。現在、コミセンに太陽光発電を設置したいと考えており、自分たちの浄財を集めて何とかしようと思うが、自力だけでは足りない面もあるので、市のご支援もお願いしたい。



##### 【ご意見】

吉祥寺南町コミュニティ協議会では、コミセンの屋上に太陽光発電を設置すれば、地域の人にも、環境問題に関心を持っていただけると話し合い、プロジェクトチームを立ち上げた。太陽熱発電を設置して、少しでもコミセンの電力を補充しようという意気に燃えている。しかし、かなり高額な資金が必要となる。いろいろな方々から募金いただいたりしているが、市に、資金面・技術面でご協力いただければありがたい。市内のコミセンの中で最初に太陽光発電を設置したいので、よろしくお願いしたい。

#### 2. 環境教育について

##### 【ご意見】

私は、地球環境問題に 50 年ほど取り組んでいる。エネルギー・環境・人口問題が一緒になってどうしようもなくなっている課題を解決する案を持っている。それを子どもたちへの教育としてまずやりたい。子どもたちに、太陽エネルギーで石油よりも安く電気がつくれるという小さな実験をやってもらいたい。子どもが太陽エネルギーをつくるのが可能だという話を学校でしたい。実験は 1 万円あればできる。最近、太陽光発電の性能が非常によくなっていて、昔は私が最初に知ったころは、1㎡あたり 10 万円ぐらいだったが、現在、3分の 1 ぐらいになって、しかも性能が上がっているという話を聞くので、考慮してほしい。

##### 【市長】

環境問題については、今年はサミット等もありますので、マスコミも取り上げられて、関心が高まっています。市では、平成 18 年に環境基本計画を策定し、いろいろな施策を盛り込

んでいますが、何をどれぐらいやったらいいのかという点が不足していました。特にCO<sub>2</sub>の削減を定めた京都議定書の約束期間が今年からスタートしました。議定書では、この5年間で日本が1990年当時に比べて6%のCO<sub>2</sub>の削減をするということですが、この計画では、それよりも前倒して武蔵野市は目標を達成しようということを掲げています。しかし、何をやったらそれが達成できるのかという施策が盛り込まれていなかったため、環境市民会議の皆さんにお願いして、具体的な施策を検討いただいています。なるべく今年の早い時期に、検討結果を市の施策として位置づけをして、皆さんに具体的なお願いをしたいと思います。

例えば、ご家庭での電力量を10%削減してほしいということがあり、10%というのは簡単そうですが、1年で1カ月分以上の電気を使わないということですから大変です。しかし、少なくとも具体的な目標が決まる前までも、省エネに努めていただきたいと思います。6月からはクーラー等が利用されるかと思いますが、市役所でも、6～9月は省エネ月間として、クーラーはなるべく使わず、設定温度も28℃にしますので、皆さんのご家庭でも、できるだけ消費電力を抑えていただきたいと思います。

武蔵野市はさまざまな施策を提案していて、施策自体は評価いただいています。市民団体のランキングの中でも、多摩26市で武蔵野市の取り組みが一番進んでいるという評価をいただきましたが、これは取り組みの評価でして、取り組みの結果ではないんです。今掲げている施策を実行して、結果の部門でも1番をとりたいと。一番を目指すわけではないですが、環境問題については先頭を走りたいと思います。

太陽光発電については、市内小学校にも設置してきました。市では、環境教育の一環として設置してきました。既に10の小学校の屋上に太陽光発電を設置することができました。この設置費用は2,500～3,000万円ほどかかっています。出力数からしますと30kWという数字です。残りの2校にもあと2年以内で設置するのが当面の目標です。

それ以降も公共施設の屋上を利用して、例えば、屋上緑化や太陽光発電など、環境にやさしい施設づくりをしていきます。公共施設の1つとしてコミセン等も想定されますので、今すぐお金を出すとは言えませんが、小学校に設置し終わった後は、公共施設に広めていきたいと考えています。



学校以外にもいろいろな場所に設置してきました。市役所の車庫棟の上や、市民の森公園、0123はらっぱなどにあります。合計出力数は約300kWになっています。発電量が年間約29万kWhで結構な量です。これは、学校1校が年間で約15万kWhですので、学校で言うと約2校分弱ほどの発電をこの太陽光発電で行っているということです。ちなみに各小学校で設置している太陽光発電も、各小学校での必要な電力量の2割を賄っています。設置費用はかかっているんですが、結構貢献しているということもあるので、今後、公共施設で広げていきたいと思います。

環境問題から、CO<sub>2</sub>の削減があまり発生しないということで、原子力発電が見直されているということを知ります。しかしながら、原子力発電については課題が多いので、自然エネ

ルギーを利用した電力の供給を考えていくべきだと思います。市でも、住宅用太陽光発電設備に助成しています。9万円に最大出力kW（4kWが上限）を乗じて得た額を助成しています。上限は設置費用の2分の1です。その他の補助制度もありますので、詳しくは、市役所環境政策課にお問い合わせください。こういう形で、公共施設もこれから太陽光発電を設置していきたいし、屋上緑化もしていきますので、各家庭でできることは取り組んでいただければありがたいと思います。

その意味では、環境教育も大切です。子どもたちは常に学校で、今日はどれくらい発電があったかを見ているし、実際に屋上に上がって発電機を見ているので、子どもたちの中には浸透してきていると思います。

### 3. 市有地の活用・農地の保全について

#### 【ご意見】

吉祥寺南町ではたくさんの取り組みをしている。10年ほど前から動きはあったが、きっかけになったのは、ごみの処分場があと10年で一杯になると言われていた時代に、危機感を持ち、「ごみを減らそう南町ネットワーク（通称：南町ごみネット）」を6年前につくった。それで、毎月、定例会を開いて、地域で話し合いながらやってきたが、大事なものは、「思いは地球レベルで、行動は地域から」ということで、環境というのは、最終的には行政に動いていただかないと結果が出ないが、動き出すのは市民からではないかと思い、取り組みを始めた。



途中から地球温暖化の問題が出てきたので、名前も「南町ごみネット」から「南町環境ネット」になり、二酸化炭素の削減についても、2年ほど前から、テーマの中に入れた。その中で、空き地の有効利用、市所有の遊休地を暫定的に有機農園として使わせてほしいという要望書を一昨年と昨年に出した。長年放っておかれていた土地ももったいなく思い、農薬や化学肥料を使わないで土地を有効に使っていききたい。その中でやりたいことは、環境教育、コミュニティづくりということで、市にはお願いしているが、市長からは、土地を取得したときの目的以外には使えないという地方自治法があるが、一般に貸し出す使い方のルールをこれからつくるといったお返事をいただいた。私たちはその返事の文書を今も待っているの、よろしくお願ひしたい。

あと、この近くにある生産緑地が、生産緑地としては使われていない。個人の土地だから、市がどうこうすることはできないと思うが、農地の保全は大事な問題なので、気がついたら宅地になっていたということにならないように、事前に調べてほしい。

### 4. 防災・安全面を含めた太陽光発電のコミセン設置の検討について

#### 【ご意見】

先ほどの、子どもたちに太陽光発電をつくらせるというご意見については、数年前から、例えば、風力発電とか太陽光発電などの実験を子どもたちを集めて、すでにやっている。そ

ういうところから、吉祥寺南町コミセンに新たに太陽光発電をつけようという話があって、私も協力したくなった。市長のお話の中で、学校が優先で、その他の公共施設は後回しというニュアンスがあったが、せっかくここで機運が生まれたので、ご協力をお願いしたい。我々にとっては、お金が一番必要だが、それ以前に、例えばこの建物は市の所有物なので、耐震強度はどれぐらいあるのかとか、そういうところから見ていくなどのご協力をお願いしたい。環境ということで進めているが、安全や防災の視点と絡めてほしい。何かあったときに小学校・中学校が避難場所、いろいろなものを置いてある場所という形になっているが、お年寄りはいざというときに小学校まで行くのが無理かもしれない。コミセンも公共施設の1つとして、特にお年寄りの安全・安心のために、防災も絡めて一緒の形で考えていただきたい。

## 5. 家庭における太陽光発電の効果について

### 【ご意見】

太陽光発電に関して、うちは設置して6年になるので、どの程度効果があるかお話したい。まず何でやろうかと思ったか。我が家の電気代がとんでもない金額で、子どもが3人、夜延々と起きていて、2万円を切らなくなった。こんなに払ってられないということで、当時、ある業者から、国で50万円補助があり、武蔵野市も補助があると聞いた。そのときは1kW 10万円だったと思うが、うちは4kWで40万円いただいた。それで4kWぐらいの容量で、余ったのを売電して、それはお金が入ってくる。それ以外に電気代としてもかなり安くなっている。当時、3万円を超えた月もあったが、今は2万円を超えることはないし、家族はみんな暑がりなもので、以前と同じような使い方をしているが、それでもやはり電気代としては減っているので、そのころは業者も少なかったが、今はかなりあるので、見積もりだけでもとってみるとか、そういうことをやってみたらおもしろい。



### 【市長】

コミセンにおける太陽光発電の設置については、これから皆さんといろいろな議論をしていく中で、市がどのような支援ができるか検討していきたいと思えます。

市有地を有効利用できないかというお話がありました。市有地は、ある目的を持った土地ですので、例えば、道路事業を進めるにあたって、代替地として利用したり、いつ使うか決められない土地がありますので、すぐどうぞとはいきません。しかし、武蔵野市は狭く、公園もそれほどない中で、未利用地もある期間限定で利用できないかと常々思っています。

例えば、境南町の武蔵野赤十字病院の北側に整備を予定している市道第308号線は、現在用地買収を進めていますが、本格的な整備までには2～3年かかるので、その間、買収済の部分について何らかの利用ができないかという地域からの要望もあり、暫定的に地域の皆さんに花壇や広場として利用していただくことにしました。ただし、期間は3年までです。事業が早まれば、花が咲いていようがストップということでご理解いただきました。手入れも皆さんにやって

いただけるということで、期間限定だとしても、市有地の有効利用になるのではと試行しました。現在、地域住民のグループ「フラワーロード・スマイル」に維持管理をしていただいています。その結果も見ながら、市有地で、一定程度の時間、利用可能な場所があるのであれば、検討に値すると思います。現在、市有地に関する情報を整理していますが、その土地はどのような目的で、そうするとそれは開放できないかなどを含めて整理していますので、暫定期間での活用の仕方については、市でガイドラインをつくりたいと思います。

生産緑地は継続して農業をされるという土地ですので、基本的にはずっと継続されるということが前提ですが、代替わりで後継者がいない場合には、生産緑地の解除をしないといけないということから、その時点で市と調整が必要になってきます。情報は、まずは市に来ることになっています。その時点でまたいろいろ検討していきたいと思います。私としては、生産緑地は数少ないので、継続して農業をしていただきたいと思います。



太陽光発電については、市も設置をしております、ノウハウがありますので、情報提供はしていきたいと思います。安全や防災面も絡めてということですが、市の取り組みとしましては、一人暮らしの高齢者が結構いらっしゃいまして、そういう方々をいざというときにどうやって助けるのかを課題としてとらえています。昨年度から、「災害時要援護者避難支援事業」という名称で、援護が必要な人をどうやって地域で見守っていくかというモデル事業をスタートしています。「吉西福祉の会」と「東部福祉の会」の皆さん、民生委員の方々にもご協力いただいて、名簿を整理し、その方々に2人以上のいざというときに駆けつける人を決めるなどの研究をしています。

まだ昨年度の2地区の整理が終わっていませんが、終わり次第、今年度、全市に広がります。民生委員の方と地域社協の方、それから実際に駆けつけていただけるような方に手を挙げていただくので、そういう場面になりましたら、地域の皆さんに応援いただきたいと思います。そういうことも含めて、地域の方で防災に力をいただかねばなりません。市役所だけではだめです。特に市職員は、残念ながら市内に在住しているのが3割以下と、極めて在住率が低いので、地域の皆さんにいざというときの体制を整えていただかないといけないので、協力をいただきたいと思います。

それから、太陽光発電に関する情報提供、ありがとうございました。できればクーラーをなるべく使わないほうがいいのですが、太陽光エネルギーを使って工夫いただいているので、皆さんも設置いただきたいと思います。現在の補助制度がうまく動いていき、申請者が多くなれば、また工夫をしていきたいと思います。

### 【三輪環境政策担当部長】

この補助制度については、皆さんに周知されていないというのが現状ですが、今日、商工会議所へ行きまして、建設業協会にこの制度があるということを伝えてほしいと申ししてきました。何か建て直すとかありますと、建設業協会でも情報を把握していますので、よろしくお

願います。

## 6. 小学校のビオトープについて

### 【ご意見】

第三小学校には、ビオトープがあるにもかかわらず、先生あるいは指導員がいないと、子どもがビオトープの中に入れない。子どもたちが自由に入って、いろいろな自然体験をするためにつくったのではと思うのだが、どういうわけか。

### 【市長】

ビオトープは全小学校に設置されています。子どもたちの環境教育の一環として利用されていると思いますが、私のイメージでは、休み時間なんかはその中に入っているのではないかと考えていましたが…。

### 【笠原緑化環境センター所長】

ビオトープについては、子どもたちの環境教育のためということ、在来種などをそこでみんなで一緒に育てようという目的で設置してきた経緯があります。自由に入れないというのは、水につかったり、魚釣りをするなどの遊び方とは違う発想があるのではないかと思います。あとは、ただ、先生方の学校のビオトープに対する考え方もありまして、学校によって使い方に温度差があるのは事実です。



### 【ご意見】

井の頭小学校は自由に入れると聞いているが、他の学校はほとんど入れないということらしい。自分は、わくわくのほうをやっているから、先生のかわりに自分がやってもいいと言っているが、学校はなるべくそういう方向にしておきたいと言う。

### 【市長】

それぞれの管理は、学校でしていますので、学校によってやり方が違うと思いますので、三小の先生とお話をしてみてください。ちなみに、現在の三小の校長先生は、今年の3月まで井之頭小の校長先生だった方です。

## 7. 違法建築物について

### 【ご意見】

住環境ということでお話ししたい。違法建築物への対応について、2年前のタウンミーティングでも話したが、その後の進捗状況と今後の見通しをお伺いしたい。この違法建築物は、基準より60cmくらい高い建物で、しかも、埋蔵物指定地域にも関わらず、地下室を設けている。市の建築指導課に確認をしたところ、異常なしとのことだったので、市を相手に住民監査請求を行ったが、違法建築のまま人が住むようになっている。その後も、市長や建築指導課の職員に対して、違法建築での営業は日本で前例がないこと等を伝えて、改善を求めているが、再度ご検討をお願いします。これは、市の建築審査会で2年前に違法と審査された案件である。

**【市 長】**

違法建築物については、基本的には是正勧告書を出して、今後、市が指導していくということで、今のところは止まっています。その先については、難しい面があるのではないかとお話ししていますが、個々の問題になりますので、その後にはいろいろな経過があるとすれば、再度、市の建築指導課に教えていただければと思います。